

人生の 先輩から…

～100年健康・シニア活躍～



せき しずえ
関 静津枝さん
(新曾 93歳)

『わ』でつなぐ思いやりの心

2017年に戸田市へ移り住むまで、約5,000世帯が暮らす県外の団地に住んでいた関さん。そこで9年間、自治会の財務部長を務めました。限られた予算を各部で分配する際など、さまざまな意見をまとめることには大変苦労したそうです。それでも「たくさんの人たちと一緒に協力しあいながら、一生懸命重い責任を果たす。やりがいのある、そして楽しいお仕事でした」と、晴やかな表情で語ります。

現在は、新曾新田長寿会でのグラウンドゴルフやTODA元気体操を楽しみに暮らしており、医師からは「70代の体のよう」と言われるほどお元気です。また、家族3人で仲良く暮らし、戸田市に引っ越してきた記念日である28日には、どんなに忙しくても、毎月一緒にうなぎを食べに行くのだとか。昔も今も変わらず、周囲と良好な関係を築いている関さんにその秘訣を伺うと、「『わ』が大事。人とのつながりの『輪』、全体の調『和』を意識するだけで、人に優しくなれるから」と教えてくれました。誰の話にも優しく耳を傾け、「まだまだこれから！誰かの役に立ちたい」と笑う姿に、人生を豊かにする知恵を教わりました。

こどもアート館



みやもと なおや
宮本 直弥さん
(新曾北小学校 6年)

作品名

「田舎を走る電車」

この作品は、山のある田舎を走る電車を版画で表現しました。花を描いて、山のふもとの感じを表しています。彫る線を細くしたことで、電車の細かいところまでしっかり表現しました。電車ばかりが目立たないように、山を大きく描いたのが工夫した点です。



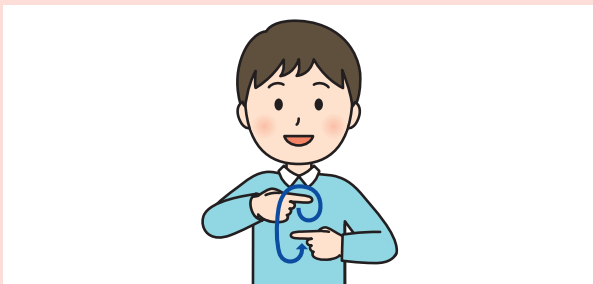
手話でコミュニケーション

第68回

今月は、「手話」「筆談」についての手話を紹介します。

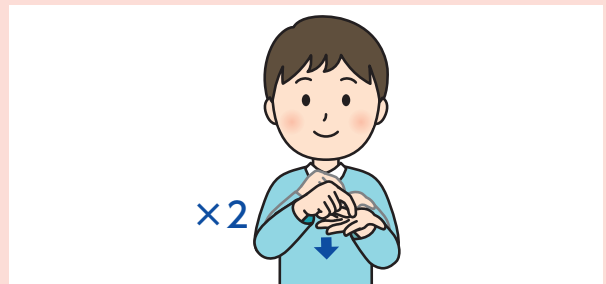
問い合わせ 障害福祉課(内線 297)

● 手話



人差し指を伸ばした両手を上下に構え、交互に回す。

● 筆談



親指と人差し指の指先を付けた右手を左手のひらに乗せ、そのまま2回前に出す。